

ともしび通信

6月 16日 (sun) 教会設立 38周年記念プログラム Welcome Church day

10:30 - 12:00 第1部 / 14:00 - 15:15 第2部

「教会は初めて」という方や「聖書は初心者です」と言われる方に、
わかりやすく聖書からお話がある特別プログラムです。

「神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に
合わせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、
試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」(聖書)

特別講師紹介：浅田 朗(あさだ あきら)師

がまごおり
蒲郡バプテスト教会(愛知県)牧師。1971年大阪生まれ。
千里ニュータウンバプテスト教会で信仰を持つ。大阪府立大
学、テンプルバプテスト神学院卒。1999年に牧師就任。
教会付属の認可外保育施設「光の園」園長を兼務(ご自身
が保育士の資格を持つ)。家族はめぐみ夫人と息子2人。



町田バプテスト教会
町田市つくし野 2-31-4 【TEL】 042-796-3822

集会のご案内

教会の活動はホームページでもご紹介しています。
<http://goodnews194.com>

日曜礼拝

多忙な日々の中で、うつむき加減
になっている顔と心。天を仰いで
生きる元気を取り戻して下さい。

毎日曜
Ⅰ礼拝 10:30~11:50
Ⅱ礼拝 16:00~17:00



教会学校 (CS)

幼児から大人のクラスまで聖書
を学んでいます。ジョイジョイサ
ンディを月1回開催しています。

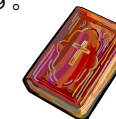
毎日曜 9:00~10:00
毎月1回開催
ジョイジョイサンディ
(こども・中高生対象)



水曜礼拝・祈り会

週の半ばの夜、静かに礼拝して、
メッセージに耳を傾けます。聖書
を順番に学んでいるので、聖書を
知りたい方に最適です。

毎日曜
19:30~21:00



壮年会

壮年会では聖書の学びと、賛美集
会や教会カフェ、日帰り温泉など
サークル的な活動もあります。

毎月第2日曜
13:30~15:00



婦人会

日曜午後の集いは個々に抱えてい
る課題を話しあい、喜びも困難も
分かち合う、穏やかなひと時です。

毎月第2日曜
13:30~15:00



青年会

青年たちが、月1回、ともに集ま
り賛美をし、語り合い、祈り合う
集いです。聖書の学びも定期的
に行っています。

毎月第2日曜
13:30~15:00



子育てサークルハンナの会

ハンナの会は、子育てに疲れたり、
悩んでいるママに元気を与える会
です。お子さまと一緒に楽しむ時
間もあります。昼食付き。

毎月第4火曜
10:30~13:00



トールペイントサークル

賛美とメッセージのひとつとき。花
を描きながら心を解放するひと
とき。お茶を飲み、語らうひと
とき。

毎月第1水・金
10:00~12:30



木曜婦人集会

家事、育児、仕事に忙しい女性た
ちがりのままの自分でいられる
場所。希望と勇気が与えられる時。

毎日曜
10:30~12:00



・どの集会も参加自由です。お気軽
にお越しください。
・質問や相談ごとは、どんなこと
でもお尋ねください。
・送迎の必要な方は、ご遠慮なく
ご連絡ください。

編集後記

ともしび通信91号をお届けしま
す。元号が変わり、時代の移り変
わりを感じますが、その中で私
たち町田バプテスト教会は変わら
ないモノを携え、38年目の歩み
もしていければと願っています。



単立 町田バプテスト教会

町田市つくし野 2-31-4 ●<http://goodnews194.com>
042-796-3822 ●[mail:machida@church.email.ne.jp](mailto:machida@church.email.ne.jp)



試練には脱出の道がある

「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではない。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」(コリント人への手紙第一 10章13節)

牧師室より 加藤信行 副牧師

最近、テレビや芸能ニュースなどで闘病生活を送っている方々の言葉や、その現状などが報じられているのを耳にします。私たちの身近に同じような苦しみに遭われている方々がおられ、余計に落ち込むこともありそうです。その現実を鋭く指摘し、同時に慰めを与えているのが右の聖書の一節だと思えます。

た。なぜなら「それでも生かされている」という喜びがあったからだと思えます。

3年ほど前、イエス・キリストを自分の救い主と信じ、口癖のように「感謝」という言葉を口にしていた義父は今、透析に加え、敗血症という猛烈な痛みを伴う試練と病床で向き合っています。その横で必死にお世話をしている義母が、痛みのある患部をさする時、かすれた声で「ありがとう」と言う声を聞きました。苦しい中でも「脱出の道」を見出し、愛し合うその姿に涙があふれてきました。

真実な神様があなたに備えてくださっている希望への道がどんなものか、私にはわかりません。しかし聖書のうちに示される本当の喜びへの道をこの機会にぜひ知って頂ければ幸いです。



教会ってどんなJNC?

私たちの教会は6月で設立38周年となりまします。はじめ小川にあったプレハブの集会所は教会とは思えない外観だったことを子どもながらによく記憶しています。

もっとも本来、教会は建物や場所を指す呼称ではないのです。それは「人の集まり」「自分を指すことばです。」

では教会にはどんな人が集まっているのか？

まず1つ目。教会には天国を信じている人たちがいます。どんなに今が困難で人生に重荷があるうとも、それがすべてではない、神さまが待っていておられる天国があると信じています。

そして2つ目。教会には普通の人が集まっています。



ます。完全無欠の、素晴らしい人格者だけ教会にいらるといのは幻想でしかありません。

もちろん少しでも人間として成長していきたいと、互いに良い影響を与え合いたいと願っています。

しかし残念ですが限界をも認めないといけませんね。私自身のうちには憎しみや高慢があふれる時があり、抑えられない現実があります。

その上で3つ目。そんな私たちが天国を迎えるため、「罪」を赦すために十字架に架かって下さった神の子イエスキリストを信じる人たちが教会にいます。

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。」(ヨハネの手紙第一 4:9)

他にこんなことを聞いてみたいと言われる方も、そつでもない方でも、教会へお気軽にお越しください！

私的映画批評

『ウォーリー』

(2008年米作品)

松本勇哉

聖書のノアの方舟をご存知ですか？今回は方舟的アニメ作品をご紹介します。

西暦2805年、

人間はゴミが溢れた地球を捨て全自動化された宇宙船で700年生活していた。地球に取り残されたのは一体のロボット「ウォーリー」。彼は延々とゴミ処理作業を続けていた。ある日、宇宙船からロボット「イブ」が植物探索のため地球へ降り立つ。主軸は、この2体のロボットの無声映画的恋愛です。

だが実はテーマがもう一つ。それは「考えなくなくなった人間」。自動化された宇宙船で歩かず食べるだけで700年経った人

間の姿！CGなので滑稽ですがあながち大袈裟ではなく笑えない。この後の展開は、イブが発見した植物をきっかけに、「考えていない」現状に気づいた人間が陸地を求めて立ち上がる。「方舟」のままですね。

聖書には様々な「考えなくなくなった人」が多数出てきます。そして彼らが様々な「きつかけ」で気づきを与えられ、変わっていくます。たぶん「きつかけ」がないと気づけないのは、聖書の時代も700年後も、今も一緒。ただこの「きつかけ」を自分で見つけ、立ち上がることは難しい。そんな時、自分はどうすればよいか、そんな事を考えました。新時代の幕開けにオススメな作品です。



婦人会リレー アナタに出会えて嬉しい

鈴木 真由美



教会には老若男女いろいろな方が集わっています。2011年99歳で召されたおばあちゃんの凛とした姿と信仰が度々思い出されま

出会った頃、そのおばあちゃんには90歳を過ぎていて、一人暮らしでした。白髪をいつも綺麗にまとめ髪飾りを付け、お化粧をされ、整った身なりで礼拝に集わっていました。私は美しいと感じました。

若い頃から耳が不自由で、礼拝でのメッセージなどは側に座った姉妹が要約筆記をして伝えてい

私のお気に入り

守屋 香織



昨年11月に長男を出産した私は子育て真っ最中。お気に入りと言葉がふさわしいかわかりませんが、息子との時間がとても楽しく特別なものになっています。もちろん、思い通りにいかず、焦りを感じたり、ため息をついたり、楽しいことばかりではありません。なぜ楽しいと思えるのか、母性とはよく考えると本当に不思議なものです。

母になって思う事、気付いた事が様々あります。まず第一に自分を生み育ててくれた両親への感謝と周りの方々の支えです。さらに子どもを連れて出かけた時には、エシベータはどこにあるか、赤ちゃん休憩室はあるか…。などの視点も加

りました。

そして、寝返りを始めた息子が、あちこちに移動して危なっかしい姿を見ていると、神様から見て、時として自分は赤ちゃんのように危険だと分からず、あちこち向かって行っているのではないかと考えさせられます。息子は何度戻してもまた危ない方へ移動してしまします。私のことを心配して、いつも守ってくれる全てをご存知の神様に委ねる大切さを、今日もまた息子との時間の中で思わされました。

子育てを通して神様の愛を覚え、神様の愛を通して子育ての喜びを感じる、この繰り返しです。このひとときが、私のお気に入りの時間。まだまだ始まったばかりの子育て、きつとこれから様々な試練も訪れると思えます。でも、母である私を導き、心配して守って下さる神様がいるから安心です。